

移動式プラネタリウムについて

東北公益文科大学 西村まどか

平成 20 年 12 月 15 日

概 要

レンタル先の五藤光学より提案された案を具体化するために

目 次

1	予定	1
2	プラネタリウムのコンテンツ	1
3	北前船の航行についての調査状況	2
3.1	ゴール	2
4	昔話について	2
4.1	ゴール	3
5	風習について	3
5.1	ゴール	3
6	その他音響など	3
7	コンテンツ発表について	3
8	依頼したいこと	3
9	コンテンツ作成の期間	3

1 予定

現在のところ 2009/7/11(土), 2009/7/12(日) の両日。

2 プラネタリウムのコンテンツ

五藤光学より、「ご当地もので」と依頼される。北前船の航行について調査すればよいのではとの提案があった。

3 北前船の航行についての調査状況

学生にインターネットで調査させた。

基本的に日中航行。陸を見ながら走行し、迷ったときはくじ引き。

致道館で和磁石を見た覚えがあるので、和磁石と北前船の関係について、調査させた。

和算で天文について記した著書が全国的にある。磁石と星図があることは確認したが、庄内に資料があるかどうかは分からない。

解決したい疑問点は以下の通り。

- 和磁石は何を基準にして北を調べたのか。北極星ではないのか？
- 和磁石あるいは天文に関する庄内の記録はないか？
- 使われている天文観は仏教由来のものか、西洋由来のものか？

本学メディアセンターおよび市の図書館などで学生が検索しているが、コンテンツ制作に必要な際には、古い文書の原本があれば撮影するなどしたい。

- 酒田市を通して光丘文庫へ問い合わせているが回答がない。
- 疎開していた親戚により、鶴岡の大山の羽田家には、歴史的な資料が保存されていると聞いた。

資料探しに専門家を紹介していただき、積極的に協力をしていただきたい。

3.1 ゴール

北前船などを題材にした大人向けのコンテンツ作成

4 昔話について

学生に、知人や親戚で、昔話で天体に関係ある話があるかどうか調査させた。インターネットで、「田川民話の会」を発見。コンタクトを取った。

インタビューを行ったが、庄内弁の壁は厚く、かろうじて題名とあらすじだけ聞き取った。また、いろいろなバージョンが伝承されている。

インタビューの結果を受けて、学生に昔話や民話集について調査させた。その結果、学生が内容を発見したり、さらに話を見つけて来た。今までで題名が分かっているものは以下の通り。

- 月山と月とうさぎ¹

月にはどうしてうさぎが住んでいるのか。

- お天道さまと金の鎖^{2,3}

やまんばに追いかけられた子どもたち。末っ子は逃げ損なったが、上の兄弟たちは天からの鎖に掴まって助かった。なぜそばの根が赤いかの説明。

- 猿と雉子の寄り合い田

猿と雉子で田を共同して作った。仲たがいをし、夜襲をかける。

- 蛇の恩返し

どうして明けの明星と宵の明星があるのか。物語は次週以降解説予定。

資料を探し出せたものについては学生が口語体による筆記資料を解説した。現在電子文書化させている。

¹資料未発見

²資料未発見

³インターネットで調べると、九州地方に伝わる昔話のようである。

4.1 ゴール

昔話や風習を題材にした子ども向けのコンテンツ作成

5 風習について

田川民話の会より聴取。

- 七夕で、織姫が天の川を渡って濡れて来るので、着替えとして浴衣を用意する（湯ノ浜では手拭）。
- ろくやさま（十六夜であると民話の会。インターネットでは二十六夜など。また、「部落」によって十七夜、十八夜もあるとのこと。）で、月灯籠と呼び、祭る。これも夏のイベント。

5.1 ゴール

庄内における世界天文年として、ポスターなどで風習を紹介するのも一興。

5.2 五藤光学からの資料提供

庄内の民話のコンテンツはすでにあるとの返事。

6 その他音響など

五藤光学のイベントでは、簡単な和楽器とコラボレートしたイベントも過去に開催しており、地元の音楽家と協力することも面白いと考えている。

7 コンテンツ発表について

- 五藤光学の専門家だけでなく、例えば「田川民話の会」に、一部分参加してもらい、庄内弁での案内などあれば面白いのでは。
- また、子どもに就職体験として一部分を案内させることもできる。五藤光学は東京で体験実習の経験あり。

8 依頼したいこと

五藤光学の制作関係者を呼ぶ会合を何度か開きたい。その際、時代考証や資料探しに協力していただける方を紹介していただきたい。

9 コンテンツ作成の期間

フィルムなどが手作りなので、イベントより少し以前には完成させている必要があると考えられる。現在締切について問い合わせ中。